

地域包括ケアシステム構築 へ向けた取組事例 ～新潟県長岡市の取組～

小地域での医療・介護・予防・生活支援・
住まいの一体的な提供に関する取組

～自治体の概要～

新潟県長岡市

●地域概況

新潟県の中央部に位置し、信濃川が市内中央に流れる国内有数の豪雪地帯。平成の大合併の結果、守門岳から日本海まで広大な市域を有するようになった。

コシヒカリを始めとする農業や日本海側の漁業のほか、機械金属関連産業が基幹産業となっている。

●人口 281,100人

●高齢化率

65歳以上 26.4%

75歳以上 14.4%



コシヒカリ

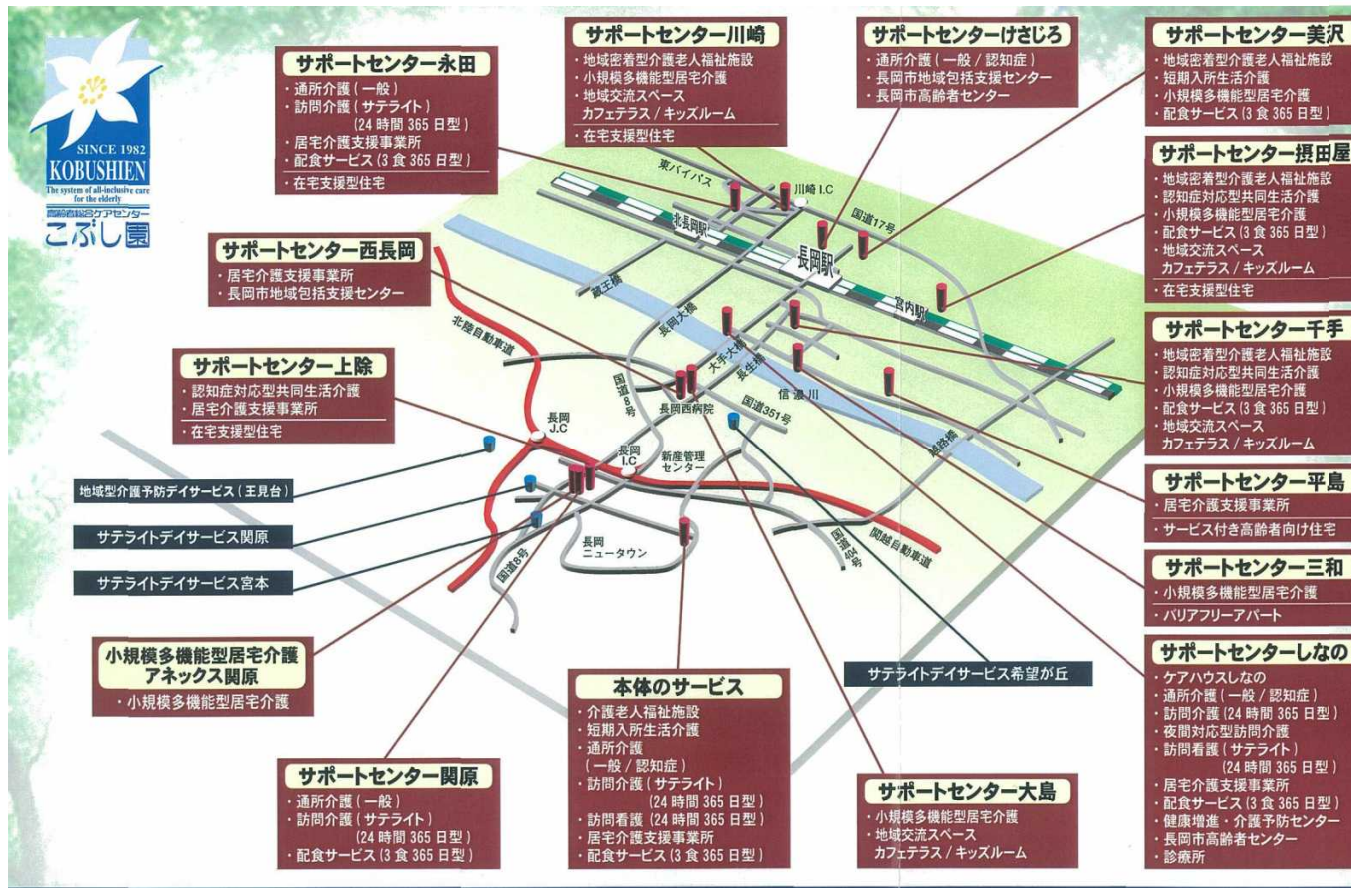


長岡まつりの大花火大会

地域包括ケアシステムをめざして、法人主導から官民共同の取組へ

- 長岡駅を中心とするエリアに、13カ所のサポートセンターを設置
- サポートセンターごとに、住まい・医療・介護・予防・生活支援などのサービスを組み合わせ、一体的に提供

市の委託による地域包括支援センター（2カ所）、地域密着型特養、小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、高齢者向け住宅、配食サービス、地域交流スペースなどの保険外サービス等



世代間交流や居場所づくり

～取組の概要～ 平成14年度より開始

取組の経緯

(実施主体) 長岡市、(社福) 長岡福祉協会

(背景・地域の課題)

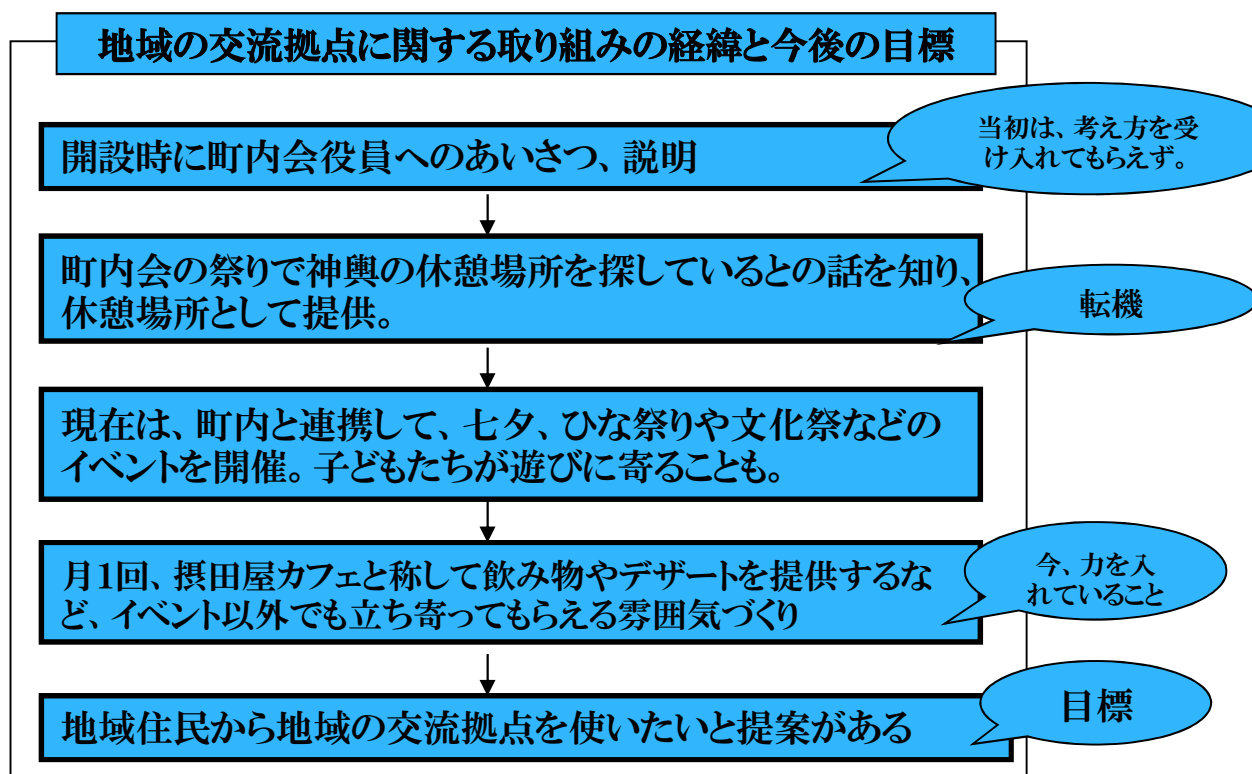
- 平成14年 社会福祉法人長岡福祉協会は、バリアフリーの住環境と、24時間連続した看護・介護・入浴・食事等のサービスを「今までの暮らしの中」において小地域完結型で提供できる集合体をめざし、独自に「サポートセンター」を設立
- 平成16年 自法人以外の民間事業者との協働によるサポートセンターを設置
長岡市役所の支援による民間の高齢者向け住宅を併設し、多様なニーズに対応したサービス提供により、地域生活の継続を支援
- 以降、行政、医療機関、介護サービス事業者、民間事業者と連携し、一体的なサービス提供のための基盤整備を行い、13カ所のサポートセンターを設置
- 地元住民の理解を得るための創意工夫もなされている

(取組のポイント)

- 施設でも自宅でもない新たな在宅介護として、多様な生活スタイルやニーズに対応するためのサービス提供体制を官民協働で整備
⇒小地域完結型のサポートセンター
- 地元町内会と事業所が連携して行事を開催し、住民との信頼関係を構築
- 今後介護サービスを利用することとなる団塊の世代向けの雰囲気づくり

小規模多機能型居宅介護施設における交流スペースの取組事例

- 小規模多機能型居宅介護事業所が地域に開かれたものとなるよう取り組みを進めてきたが、当初は地元町内会の理解を得られなかった。
- 町内の祭りの際に、事業所を休憩場所として提供したことを契機に、事業所のイベントに住民が参加するなど、地域との交流が生まれている。



取組に係る財源

- 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金 6,296千円
- 地域介護・福祉空間整備推進交付金 3,000千円

取組に必要なネットワーク

- 介護サービス事業所、医療機関等
- 民間事業者（配食、生活支援等）
- 地元住民（町内会等）



取組の効果

- 子どもから大人まで、事業所に対する地域住民の理解が得られた。
- 町内会の役員会を交流拠点で開催するなど、町内会との関係ができた。
- 子どもたちが自然と遊びに立ち寄れる身近な場所となった



今後の展望

- 地元住民側から積極的に事業所を使用したいという提案をしてもらえるような関係づくりを行う。
- 将来的には、老人福祉センターの娯楽室用のように来館者が自由に使える場を目指す。